

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	39	事業名	文化芸術アウトリーチ事業 (中事業名) 文化芸術アウトリーチ事業		担当課		生涯学習課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-4 文化芸術アウトリーチ事業		
					決算書ページ		233	~ 233	一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	2 子どもが元気に育つまち		5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪				
		政策	3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備		1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進				
		施策	(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出		(2) 文化芸術による交流				
	その他	開始年度	2005						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律						
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		④最終成果 (大事業の将来像)							
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 6500 【事業内容】 市内の教育機関、児童館等において、文化芸術による活動（演奏、体験、教室等）を行います。特に、子どもの自発性を育むため、体験型の芸術活動を充実します。		【アクションプラン指標】 体験型の活動数 【その他の指標】 市民参加の延べ人数		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲載回数		大事業共通 市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。		

II活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
	1	【アクションプラン指標】 体験型の活動数	回	基準値	15	目標値	15	15	15	15	15	
				目標値	15	実績	16					
	2	【その他指標】 市民参加の延べ人数	人	基準値	-	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
				目標値	-	実績	1,770					
	3			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	4			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	2005年の愛知万博を契機に、小学校へのアウトリーチ事業を開始した、当初は小学校のみであったが、次第に学校側より要望があり、中学校でも実施することになった。現在は長久手市内小中学校すべてで実施しており、小学4年生と、中学校1年生かならず体験している。									
		各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	小学校6校、中学校3校で芸術アウトリーチ「であーと」を行った。市内の小学校4年生、中学校1年生の全てのクラスで実施した。これまで音楽を中心としたアウトリーチを展開してきたが、今年度は初めてのコンテンポラリーダンスでの実施に挑戦し、大成功となった。契約アーティスト創造スタッフの力を借りたことに、入念な準備の結果が生んだものだと思う。多様な芸術を提供する機会が増加した。				R7					
R8						R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		すべての事業での新聞等の掲載回数	回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R7 年度		R8 年度		R9 年度	
				52回		35回		38回		58回		60回	
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					挑戦的な事業や、現代社会との密接な関係性を考慮した事業は、掲載される可能性が高く、事業が毎年同じで形骸化することを防いでいる。指標目標があることにより、新しい切り口や、新たな取り組みを生み出すきっかけになっている。					
	評価の理由、分析												
	今回、音楽以外に初のコンテンポラリーダンスによる「であーと」を実施した点は大きく、新聞社も非常に丁寧に、大きな記事として取り上げていただくことができた。成果指標である掲載回数にも影響し、なによりも挑戦的な姿勢で、多様な芸術との出会いを子どもたちに提供することができた。												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由									
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		回数を増加させるというよりも、これから多様な芸術でのアウトリーチに挑戦するために拡充を選択している。								
		改善ポイント											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度				
1	【改善】助成金の確保による事業費の一部充当	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	文化庁補助金、財団法人地域創造や、瀬戸信用金庫助成金を今後も獲得していく。昨年と同様の企画であったり、類似の事業やパッケージ事業を申請しても採択を得られないため、多様なジャンルの毎年異なる挑戦的な公演を、企画、制作し実施することで、継続的に助成金を獲得していく。						R8				
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			760	675	760	670	900			
		理由			特定財源	合計額			498	0			
		R7は工事休館によりホール事業が実施不可のため、劇場の外での実施が多い本事業を強化し予算を増額した。R8以降はR6と同額規模にて継続する。前年度R7との比較という意味では、R8は予算的には縮小と見えるが、R6比較では同額となるため、現状維持とする。				(内 国費)							
						(内 県費)							
						(内 諸収入)							
						(内 その他)			498	0			
		積算額			一般財源		760	675	262	670	900		
		R6同額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞								
					事業・公演等委託 800千円（680千円） 講座・講演等報償金 100千円（80千円）								